

生物進化における良心

良心や道徳性は、人間の「どこに」あるのでしょうか。そもそも、それはヒトだけが持つものなのでしょうか。良心が脳の機能の一部であるとすれば、それを担う神経細胞の回路が存在するはずです。また、その神経回路がヒトにあるとすれば、同様の回路が他の動物にも存在するはずです。発生遺伝学を専門とする講師と共に、生物進化という広い視野から良心の所在や機能に迫っていきます。

- 日時：2018年 **6月12日** (火) 16:40 — 18:40
- 場所：同志社大学 京田辺キャンパス ^{ことば} 言館 チャペル
- 講演：元山 純 (同志社大学大学院 脳科学研究科 教授)

司会：小原 克博 (同志社大学 神学部 教授、
良心学研究センター長)

コメンテーター：

林田 明 (同志社大学 理工学部 教授)

廣安 知之 (同志社大学 生命医科学部 教授)

貫名 信行 (同志社大学大学院 脳科学研究科 教授)



■ 問い合わせ 同志社大学 **良心学研究センター**

CONSCIENCE

E-mail : rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に一良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

講師略歴

元山 純 (もとやま じゅん)

同志社大学脳科学研究科 神経発生分子機能部門・教授

1988年 筑波大学第二学群生物学類卒業

1990年 名古屋大学理学研究科修了

1994年 東京医科歯科大学歯学研究科博士後期課程修了・学術博士

三菱化学生命科学研究所、トロント小児病院研究部門、理化学研究所脳科学総合研究センターを経て、2009年に同志社大学生命医科学部、2012年に現職。

専門は動物発生学。多細胞体の形成と維持に必要な分子メカニズムの理解を目指している。

生物進化における良心

1. 進化についての基礎知識

【キーワード】：ダーウインの進化論
適応と自然選択

2. 良心とは何か。生物学の視点から定義可能なのか。

【キーワード】：利他的行動
社会性昆虫
社会性哺乳類
ルール

社会性を示す動物が備えている機構：

「個体は自ら所属する集団中のルールを認知し、それを内面化し集団内の他個体の価値観に共鳴することができる。その機能を前提として集団内のルールを基準に個体自身の行動を評価し方向付けることができる。」

3. ヒトの社会性を示す動物としての特徴

【キーワード】：生物としてのヒト
社会構造の変遷

4. 科学の視点から良心について考えることの意味

【キーワード】：グローバル化
エビデンスベースド

良心学研究センター主催 公開シンポジウムのご案内

■ 7月12日(木) 16:40 - 18:40、今出川キャンパス 同志社礼拝堂

「法と良心——「良心の自由」を中心に」

講師：遠藤比呂通（弁護士、憲法研究者）

コメンテーター：深谷 格（同志社大学大学院 司法研究科 教授）

中西久枝（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）